

# 『はじめて回った!』 5歳児 2月 にじ組 富雄南こども園



## エピソード

クラスでのコマ大会(コマをどれだけ長く回せるのかを競うもの)を数日後に控えたある日のこと。保育室では子ども達がいつものように投げゴマに挑戦していました。

すでに回せるようになった子ども達は「勝負しよう」「いっせーの一で」と、一緒に回して遊んでいました。少し離れた所で見ていた A 児が、友達の元へ行き「どうやって回すのか教えて」「回せるようになりたいねん」と声を掛けました。それを聞いた子ども達は「いいよ」「投げる時はこう」「あともうちょっと」と身振り手振りを交えながら、早速教え始めました。

しばらくすると、「回った。初めて回った」と喜び A 児の声が聞こえてきました。周りでは「やったー!」「頑張ったもん」と一緒になって喜ぶ子ども達の姿がありました。

## 家庭だったら・・・

・コマ回しやすごろく、カルタ、けん玉などお家の方も幼少期に挑戦された遊びをお子さんと一緒に取り組むのはいかがでしょうか。楽しいやおもしろい、難しい等様々な感情を一緒に味わうことでお子さんの成長を感じたり、親子での会話が広がったりすることにつながるのではないのでしょうか。

## 保育者の思い

- ・自分なりに目標や目的をもち、最後まで諦めずに取り組もうとする気持ちをもってほしい。
- ・相手にわかりやすく物事を伝える力が育ってほしい。
- ・友達と一緒に挑戦し続けることで『教える側』『教えてもらう側』も達成感や充実感をもってほしい。

## 子どもの育ちや学び

- ・友達がコマを回して遊ぶ姿に刺激を受けて、「コマを回せるようになりたい」という目標をもち、自分から友達にアドバイスを求めて声を掛ける。
- ・コマの回し方をいろいろな方法で友達にわかりやすく伝えようとする。
- ・目標に向かって諦めずに繰り返し挑戦し続けることで達成感をもつ。
- ・一緒に取り組んだことで友達ができたことを共に喜び、嬉しい気持ちを共有する。